

1. 件名：「令和元年度 衝撃荷重に対する機器耐力試験」に係る技術検討会
2. 日時： 令和2年3月2日(月) 10:00～12:00
3. 場所： 東芝浜松町オフィス 会議室
4. 出席者： 原子力規制庁  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
大橋首席技術研究調査官、日比野統括技術研究調査官、石田技術計画専門職、  
東技術研究調査官、永井技術研究調査官、田岡技術研究調査官  
  
学校法人東京電機大学 1名  
  
国立研究開発法人防災科学技術研究所 1名  
  
東芝エネルギーシステムズ株式会社  
原子カプラント技術部 6名  
  
三菱重工業株式会社  
パワードメイン 原子力事業部 1名
5. 要旨：  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、安全上重要な機器の衝撃荷重に対する耐力を適切に評価する手法を検討するための安全研究を平成29年度から令和2年度にかけて計画し、実施している。  
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和元年度 衝撃荷重に対する機器耐力試験」事業を実施している。  
今回は、当事業に係る第2回技術検討会を実施した。  
技術検討会では、東芝エネルギーシステムズ株式会社より、当事業で実施した電気品(高圧接地形計器用変圧器)を対象にした衝撃耐力試験の実施内容を取りまとめた報告書案についての説明があり、有識者に報告書案の内容を確認いただいた。また、試験結果に関する分析について討議した。
6. その他  
なし